

2019年G20サミット農業大臣会合について

1 概要

- 2011年、フランス（パリ）で初めて開催されたG20農業大臣会合において、食料安全保障の確保を目的として、参加国の農業担当相、国際機関代表者が議論。
- 近年はG20サミットの開催に併せ、農業大臣会合が開催されており、2019年の日本（新潟）開催は6回目の開催となる。

<参加国・国際機関>

フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダ、欧州連合（EU）、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、中国、インド、インドネシア、メキシコ、韓国、ロシア、サウジアラビア、南アフリカ、トルコ、ほか複数の招待国
 国連食糧農業機関（FAO）、経済協力開発機構（OECD）などの国際機関



【2019年G20サミット農業大臣会合】

- (1) 開催年 2019年（時期未定）
- (2) 開催地 新潟市
- (3) 議題 未定

2 開催都市の取り組み

- 関係省庁等と円滑な調整を図り、会議の成功に向けたサポート
- 県民・市民によるホスピタリティ
- 新潟の国際的な存在感を高め、魅力を世界に大きくアピール

<推進本部の体制>

- (1) 総務・広報
 - ・市民への広報、周知を図りながら、会合が円滑に行われるよう地元として協力
- (2) 危機管理
 - ・衛生、医療、防犯、防火など危機管理体制の構築
- (3) 機運醸成・魅力発信
 - ・市民から歓迎、協力が得られるような取組
 - ・参加国の相互理解や交流の輪を広げる取組
 - ・新潟の文化、観光、産業、農業などを国内外に発信
- (4) 環境整備
 - ・市内の関係するインフラなど、受入環境の整備